

平成25年度自己点検評価報告について

大学の使命・目的及び教育目的を達成するためには、そのための中長期的な全体計画を策定し、計画の実施に必要な環境・条件を整えるとともに、計画に沿って事業の執行を管理して行かなければなりません。また、事業執行の状況を適時に点検・評価し、その結果を改善につなげていくことが重要です。

平成25年度の自己点検評価に当たっては、平成27年度に受審予定の日本高等評価機構の実施基準に基づき、適切な財務運営の確立を図るとともに、達成度を検証することを行ないました。

については、基準1. 使命・目的等(領域:指名・目的、教育目的)、基準2. 学習と教授(領域:学生受入れ、教育内容・方法、学修及び授業の支援、学修評価、教員配置等)、基準3. 経営・管理と財務(領域:経営の規律、理事会、カバナンス、執行体制、財務基盤と収支、会計)、基準4. 自己点検・評価(領域:自己点検・評価の適切性、誠実性、有効性、の分析と取組状況報告を中心に、年間4回の自己点検・評価委員会を開催し、審議を行ってきました。

本委員会の審議は、各基準ごとの実施状況の最終報告書を精査検証した上で、平成25年度の評価を取りまとめました。また、不十分な点及び未整備箇所については、継続して改善に努めることとします。さらに、平成26年度に向けては、次回の外部評価を想定した、実践的な取組状況を策定した点検評価を行うこととしました。

自己点検・評価委員長